

富山県議会議員(日本共産党)

津本ふみお

深刻な被害をもたらしてきた
「反社会的カルト集団」=旧統一協会。
政治家は関係を絶つべきです。



前進

みなさんと一緒に
取り組んできました

中小企業の「省エネ・コスト削減」を支援 気候変動対策・CO₂排出削減につながる補助金を新設

県の6月補正予算で、中小企業ビヨンドコロナ補助金に「省エネ・コスト削減枠」が新設されました。また、それとセットで活用できる「エネルギー効率向上に資する設備導入」に対する3年間実質無利子の融資制度もつくられました。

気候変動対策として私たちが求めていたものです。今回、「物価高騰対策」として予算化。広く活用されることを期待しています。

パートナーシップ制度

富山県でも導入を検討中



県営住宅(太閤山)

パートナーシップ制度とは、同性カップルなどがパートナー関係を宣言し、地方自治体が証明書を発行する制度。公営住宅の入居、医療機関での面会や手術の同意など、パートナー証明ができないことから発生する不都合を解消しようとするものです。

すでに8府県209自治体が導入。人口に占めるLGBTQの割合は3~10%と言われ、日本共産党のひづめ弘子県議も2月議会で、早期導入を求めていました。

(内側のページもご覧ください。)

津本ふみおの暮らしなんでも相談
☎090-9441-8504



ひづめ弘子
(富山市)



津本ふみお
(射水市)





消費税の5%への緊急減税を求めるべき

【津本】 県として消費税の5%への緊急減税を国に求めている。これは生活必需品を中心に値上げラッシュが起きている中でもっとも効果的な物価対策となる。すでに多くの国が消費税減税に踏み出している。

【知事】 減税という手段よりも財政支出によって対応するほうが望ましいと考えている。

国のこの間の財政支出で、直接生活を応援する物価高騰対策はありません。

改善が必要！ 観光キャンペーン「ブロック割」

【津本】 現行の「ブロック割」の宿泊割引などは、他県で宿泊する場合、旅行代理店を通したものは対象にならない。このため県内の代理店は苦境に追い込まれている。中部ブロック9県で連携し運用を改善できないか。

【地方創生局長】 「ブロック割」が旅行会社にとって、旅行販売の機会逸失につながる場合もあると認識している。昨年12月、国に改善を要望した。

施設のゼロエネルギー化。県が率先して取り組みを

【津本】 気候変動対策が急がれている。策定予定の「県カーボンニュートラル戦略」では、県有施設の新築などの際に、施設のゼロエネルギー化に取り組むことをしっかり位置づけるべきと考える。

【カーボンニュートラル推進課長】 現行でも可能なものはゼロエネルギー化を検討するとしている。「戦略」においてもこれを踏まえて検討したい。

ゼロエネルギー化とは、施設の年間のエネルギー収支をゼロにすること。建物の断熱・省エネ化、太陽光発電など現在ある技術で可能とされ、その普及が課題になっています。

生活保護のハードルを高くしている「扶養照会」

【津本】 国の「扶養が期待できない場合は照会しない」とする方針改定を受けて支援団体が申出書の様式を作成している。申請者が扶養照会についての意思を伝える上で、この「申出書」の活用も有効と考えるがどうか。

【厚生部長】 県内でもその「申出書」を活用して、申請者との円滑なコミュニケーションに役立てた事例がある。各事務所に情報提供をする。

申出書の様式は「生活保護問題対策全国会議」などがネットで公開しています。

バスや電車を使って行くルートを検索できる 「とやまロケーションシステム」

「免許証を返納したが、富大附属病院に行くバスがない。困っている」との相談を受けました。どうすれば？
その一助として、「とやまロケーションシステム」を紹介します。

免許証を返納したら、まず試してみてください！ バスや電車の乗り換えを分かりやすく表示

県が作成している「とやまロケーションシステム」の、現在地（自宅）から目的地までの「ルート検索」を使えば、どの公共交通をどのように使えば、何時に、いくらの料金で行けるのか、分かりやすく表示されます。
パソコンやスマホで利用できます。

たとえば、太閤山の人が、目的地を「富山大学附属病院」として「ルート検索」をすると、右図のように表示されます。

7：15に家を出れば、病院に8：41に着き、かかる料金は片道530円ということが分かります。（右図）

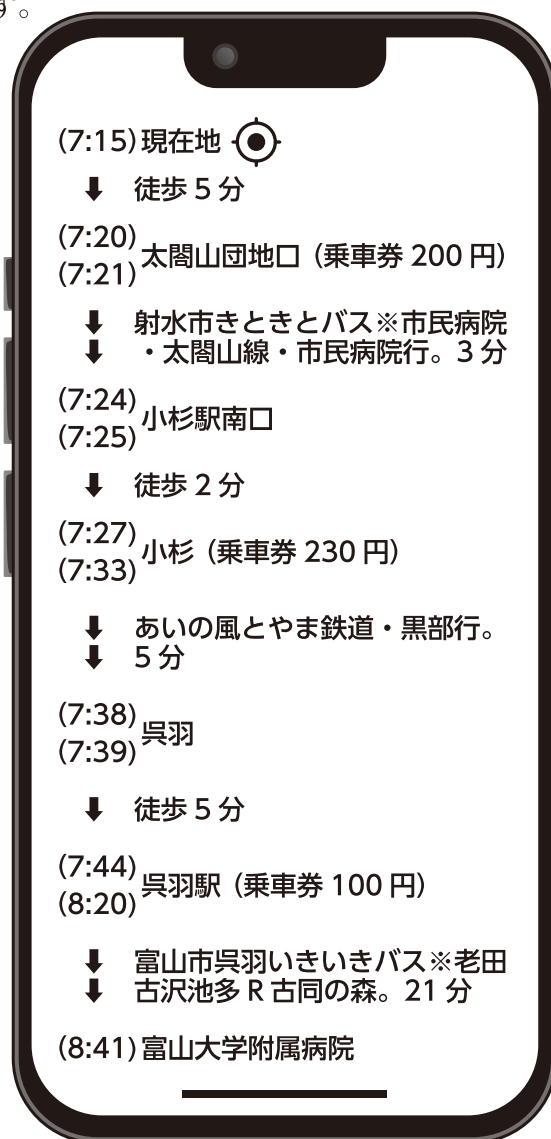
「とやまロケーションシステム」は公開されおり、ネットで検索すれば、「ルート検索」などの画面が表示されます。また、「ヤフー！マップ」などでもルートの検索ができます。

課題① 必要とする高齢者が使える？

使えない方への家族や地域の人などによる支援、また県や市町村のサポート体制が必要です。

課題② 乗り換えの待ち時間を短く

例えば右の図では、呉羽駅でのバス乗り換えに36分間もの待ち時間があります。できるだけスムーズな乗り換えとなるように、改善に向けた取り組みが必要です。





学校給食の食材費を補てん

県立学校の、物価高騰による給食費の引き上げを抑えつつ、給食の質を維持するために、食材費高騰分を補てんします。対象は特別支援学校や夜間定時制高校など。

就労系障害福祉サービスの工賃向上へ

既存商品を磨き上げたり、新分野に進出するなど、就労支援のための新たな取り組みを支援します。補助率は、必要となる備品などの購入費の10/10。上限は25万円。

「富山県地域交通戦略」策定へ

「このままでは、あらゆる地域で路線の廃止撤退が起きかねない」と国が危機感を表明。専門家も「公共交通を再生するためには、公共負担原則に見直すことが必要」と指摘。こうしたなか、県は「地域交通戦略」策定にむけた検討を開始しました。「県民のウェルビーイング向上の視点」から県内の公共交通のあり方を議論し、その上で公共の負担についても検討していくとしています。

太閤山ランドなどで「パークPFI」の導入を検討

公園の整備と運営を民間に任せる「パークPFI」。県は、8つの県立都市公園で導入を検討しています。先行している東京、京都などでは樹木を伐採するなどの問題が発生。木を減らせば管理費を軽減できるからですが、収益目的のパークPFIではこうした弊害に警戒が必要です。

県内の火力発電。廃止はいつ？

CO2を大量に排出する火力発電、早期の廃止が求められています。県内には北陸電力の火力発電が2基ありますが、廃止時期については、1基は2018年から24年に延期、もう1基は「今後検討」というもの。廃止時期を明確にすべきと考えます。また、そうしてこそ再生可能エネルギーに本腰を入れて取り組むことができます。



射水の丘陵（水戸田）



選挙区・坂本ひろしさん
2万6,493票獲得
日本共産党は比例で3議席

日本共産党は、東京選挙区で議席（山添拓・3位当選）を確保。比例代表の3議席とあわせ4議席を獲得しました。前回から2議席減となりましたが、公約実現と自力の強化に全力で取り組みます。

●選挙区の結果

候補者		射水市	富山県
野上浩太郎	自民	24,154	302,951
海老かつよし	参政	4,228	20,970
京谷公友	維新	3,807	43,177
坂本ひろし	共産	3,211	26,493
山としひろ	立憲	3,028	40,735
小関真二	N党	520	6,209



県議選でも
がんばります

日本共産党



6/8 記者会見をする
(左から) ひづめ弘子（富山市）、津本ふみお（射水市）、高瀬あつこ（高岡市）